

『みんなで支える 豊かな川路』の実現！

2024年（令和6年）5月29日

【かわらんべ 交流会】開催

と き：令和6年5月11日（土）16：00～

場 所：天竜川総合学習館 かわらんべ。

参加者：かわらんべ：寺澤保義 館長 中村貴俊 様（教育担当）

久保田憲昭 様（広報、教育）加藤富貴子 様（事務）

まちづくり委員会：中島良彦会長 小林好雄副会長 塩澤明美会計 熊谷直樹教育育成

ようす：委員長 塩澤茂治環境保全委員長 江口正浩公民館長

寺澤館長から、保育園児から中学生までかわらんべを利用した学習がされていると説明をされました。また、天竜川上流事務所では、川路の天竜川美化活動をはじめアレチウリ駆除活動に対して感謝しているとのことでした。

久保田さんからは、昨年のアンケートで、久米川での「親子で魚釣り」の募集があったが予約がすぐにいっぱいになってしまうと意見があり、今年から人数制限を止めたとのことでした。

中島会長から、ホテル復活PJを説明し、川路の河川をホテルが生息しやすい河川にしたいので、河川の水質調査等のご指導をお願いしました。

各委員長、公民館長から令和6年度の事業を説明して、かわらんべの協力をお願いしました。

◆◆かわらんべの施設は充実◆◆

事前予約をしてだれでも使用可：会議室（9：00～21：00）図書室（川に関する専門書、郷土史の資料を館内で読書）エレベータ&冷暖房完備 一番は、【天竜川防災拠点】であること。災害発生時の応急避難施設であり、関係機関による災害対応の拠点になります。

「かわらんべ」とは伊那谷の方言で「カッパ」のことを意味します



このQRコードで、かわらんべへは、



【天竜川水系河川整備計画変更原案説明会】参加

天竜川水系河川整備計画は平成21年7月に策定されました。しかし、近年の気候変動により降雨が増大することが見込まれることから、河川整備計画の見直し等を行うため、天竜川水系河川整備計画（国管理区間）を変更する手続きを開始しています。この河川整備計画の変更内容を説明する会に参加したので報告します。 《説明会案内資料より抜粋》

と き：令和6年5月16日（木）19：00～

会場：飯田市役所 C棟3階会議室

整備計画目標のポイント

戦後最大規模相当となる昭和58年9月洪水、平成18年7月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標。今回は、近年の出水の状況、気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害に対応するため、河川整備計画の目標を変更するもの。

◆◆川路の要望◆◆

現在の堤防をスーパー堤防と呼ぶと、治水完了との誤解を生む。治水完了の為に、戸草ダムの完成と天龍峡の河川流下水量4500tの実現が不可欠であると、戸草ダムの早期完成を要望しました。（現在の堤防は三六災を基準としています。最近の三六災を超える雨量が記録される状況では戸草ダムの必要性を強く感じます。）

天竜川の洪水を防ぐために、河道掘削（砂利採取）を毎年継続することを要望しました。

単位：m ³ /s	天龍峡における数値	
	平成21年 現行計画	令和6年 変更計画（案）
目標流量	5,000	5,700 （+700）
洪水調整施設 による 洪水調整流量	1,000	1,200 （+200）
河川整備流量	4,000	4,500 （+500）

方策

さらなる河道掘削や既存洪水調節施設の最大限活用と洪水調整施設の強化、土地利用を踏まえた流域治水対策などの被害軽減対策を行う

【第1回 学友林整備作業】実施

令和6年度重点実施事項のひとつである、里山整備事業は、昨年に続いて学友林整備を行いました。

今回は、学友林の入り口と奥で保育園児の遊び場になっているところの枯れ木を主に伐採しましたので報告します。

日時：令和6年5月12日（日）9：00～12：00

場所：学友林（川路保育園から奥に入った里山）

参加者：6区：鈴木さん グリーンカルチャーの皆さん

各区長さん 3区副区長 長谷部功三さん まちづくり委員会三役



ようす：

今回の目的は

- ① 子どもたちが安全に遊べるように枯れ木を伐採する。
- ② 太陽光が地面に届いてギフチョウの幼虫が食べる、ヒメカンアオイが育つようにする。



天気予報では、雨の可能性もあるとの予想でしたが曇り空で絶好の作業日和でした。



枯れ木と言っても太さが 50cm くらいのものがたくさんありました。倒れるときは、隣の木の枝や皮を引きちぎりながら倒れます。ドーンという地響きが周りの山に響き渡って、周りから「わ～」、「やったね！」と興奮した声が上がりました。今回、倒れて道をふさぐ木も何本かありました。



それからは、みんなが協力して人力で道のわきに撤去です。

薪に使えますが、長さは2～3m あるので刻まないと運べませんね。



是非、動画で配信をとの声がありました。想像力でカバーしてください！！

今回の伐採作業は、合計で30本くらいでした。また、太い木が多いのは想定外でした。

予定では、奥の保育園児の遊び場から山を下ったところまで遊べるように歩道を確保する予定でした。しかし、何本もの太くて長い倒木が予定した歩道をふさいでしまいました。この倒木を刻んで撤去することは困難なので、歩道は要検討としました。



木々が重なり合って、簡易アスレチック場？・・・のようになっています。